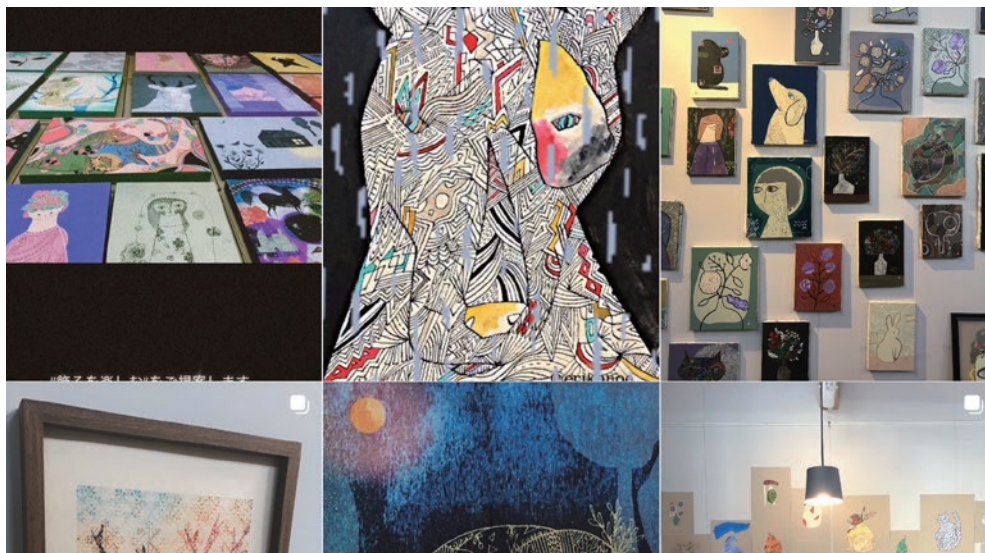


ERIKO KANOU  
&  
MARIKO OKUDA

# 絵とうたの、

# いろ合わせ

インスタレーション



## 加納江里子

江里子 / eriko (鳥根県安来市在住) 頭に浮かぶものを素直に描く、カタチにする。インスピレーションを大切に『飾るを楽しむ』をテーマに絵を描いています。安来市美術展第4回〈洋画部門〉広瀬町文化協会賞受賞／第43回鳥根県総合美術展〈デザインの部〉金賞受賞



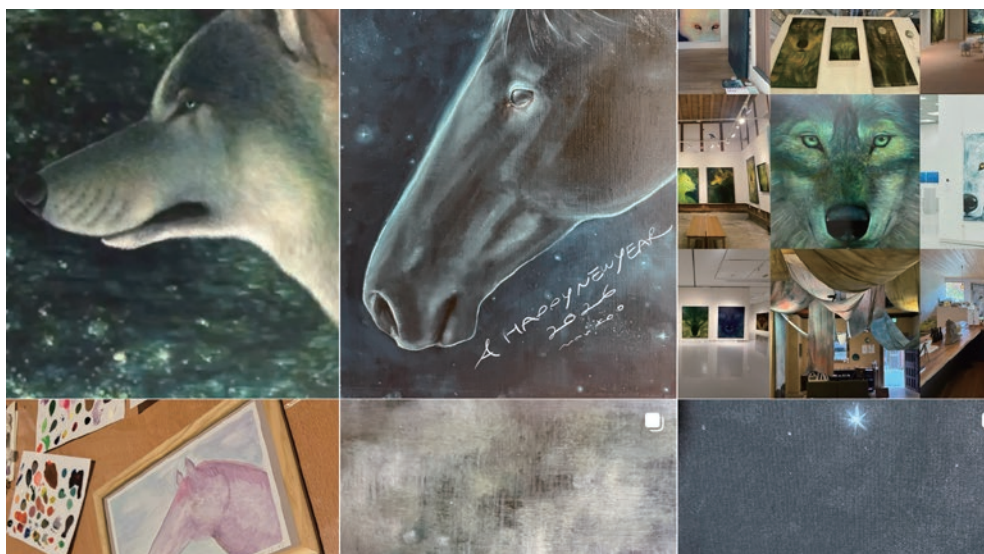
@ERIKONOE

## 奥田麻里子

奥田麻里子 (鳥取県在住) 油彩 / 染色 / 狼を描いています。幼少期より絵を描くことが好きで、社会人を経て、2015年から大阪芸術大学附属大阪美術専門学校で油彩画を学ぶ。その後、大阪で作家活動を開始し、2022年に鳥取にUターンし活動。日本美術家連盟会員 / 行動美術協会会員



@MARIKO\_OK18



この展示会では山陰を中心に全国で活動する個性の違う2人の画家、加納江里子と奥田麻里子の絵を展示します。  
観覧いただいた方がどのように感じたのかを表現し参加していただくインスタレーション企画でもあります。  
展示を見た後に紙を「自由に選び」もしくは「自由に詠んで」模造紙に貼っていただくことで、この芸術祭ならではの作品が生まれます。  
絵と歌(文字)を通じて、感じたことを選んで、「色合わせ」にご参加ください。見るだけでなく「なんだろう?」と考え・感じる時間を楽しんでいただきたいと思います。  
エネルギー溢れる2人の絵と、参加いただいたものが新しい表現となり、作品がさらに広がっていく。島で広がる、その「いろ」をぜひお楽しみください。

令和8年 3月15日-22日 (17日休館)

午前の部 10時-12時

午後の部 15時-18時

会場 / 入場無料

・後鳥羽院資料館 (奥田麻里子 / 在廊15,21,22)

・GANGUBAKO (加納江里子 / 在廊15,21,22)

●トークイベント : 21日13-14時

●ライブペイント : 22日 (詳細インスタにて)

内容等変更になる場合があります  
詳細・最新情報はSNS等でご確認ください



GANGUBAKO



波を感じて 波を生む  
gotobansan,art

